

福本遺跡 竪穴式住居麦わら葺き替え作業（報告）

ボランティア部

- 1 日 時 令和元年7月9日（火）12時30分集合・移動 現地：13時～15時
- 2 準 備 体操服、運動靴、水筒（スポーツドリンク）、タオル
- 3 参 加 2年のボランティア部員5名、バトミントン部員5名 の計10名が参加
- 4 場 所 兵庫県神崎郡神河町福本
 - ① 福本遺跡 竪穴式住居の説明
 - ② （旧）藤澤製材所 麦わらの葺き替え作業の準備

5 遺 跡

昭和27（1952）年1月、偶然に発見された一片の押型文様土器片により、この地域は播磨地方では最も古い早期縄文時代の遺跡地とされましたが、その後の発掘調査を経て旧石器時代の遺物出土が確認されたことで約一万三千年前から近世に至るまで、人が居住した複合遺跡として評価されました。

6 説明および作業風景写真

竪穴式住居の麦わらが傷み、本年度葺き替え作業が行われます。今回は、その準備のために葺き替え用の麦わらの束をつくりました。作業前に説明を受け、地元老人クラブの方々と一緒に作業をしました。



写真1 福本遺跡での説明



写真2 遺跡群の案内板



写真3 作業前の説明



写真4 作業風景①



写真5 作業風景②



写真6 作業風景③